

平成 28 年度第 2 回熊野市総合教育会議会議録

1. 日 時 平成 28 年 10 月 27 日 (木) 午後 1 時から
2. 場 所 市役所 第 1 会議室
3. 出席者 熊野市長 河上敢二
熊野市教育委員会
倉本教育長 大久保委員、小山委員、糸川委員、
4. 事務局関係
教育委員会事務局
林総務課長、楠学校教育課長、杉本社会教育課長
太田総務課長補佐、小瀬総務課庶務係長
市長公室
大西市長公室長
総務課
清嶺地総務課長
5. 事 項
(1) について

林総務課長 定刻になりましたので、ただいまから平成 28 年度第 2 回熊野市総合教育会議を開催いたします。お手元の事項書に沿って進めさせていただきます。本日の司会進行を務めさせていただきます、教育委員会総務課長の林でございます。よろしくお願いいたします。

総合教育会議開催にあたりまして、河上市長から開催のご挨拶をお願いいたします。

河上市長 本日は、教育委員の皆様方には、お忙しい中、熊野市総合教育会議にご出席をいただきましてありがとうございます。日頃より本市における教育行政の推進に対しまして、格別なご尽力をいただいておりますことに、改めてこの場をお借りし心から深く感謝を申し上げます。

第 1 回の総合教育会議におきましては、熊野市教育大綱の 24 項目について、ご協議をいただきまして、その中から 6 項目について今年度の主な重点施策とさせていただいたところでございます。

今日の会議におきましては、事項書にもありますように、主な施策の進捗状況と今後の方向性についてということで、報告をさせて

いただきたいと思っ

いた

また、先だ

今年度は、7か

林総務課長

ありがとうございます。

お手元に配布の資料の確認をさせていただきます。本日の事項書、平成28年度第2回熊野市総合教育会議、資料、これからのコミュニティ・スクールの仕組みの在り方 カラー刷り1枚もの、A4横-全国高等学校総合体育大会三重県大会等で表になっているものの5種類となっております。よろしいでしょうか。

それでは、事項書2の(1)「平成28年度主な重点施策の進捗状況と今後の方向性について」に移らせていただきます。平成28年5月23日に開催しました第1回熊野市総合教育会議において、6つの重点施策と28の主な取組内容について、それぞれ協議をさせていただきました。今年度、すでに上半期を過ぎ重点施策のほか他の施策についても取り組んでおりますが、取組事業名・事業内容・9月30日までの取組状況と10月1日以降の取組について説明をさせていただきます。重点施策1つが終わる毎に、ご質問やご意見等を頂きたいと思

1ページの重点施策1「学力向上の推進」についてですが、取組事業が6事業3ページとなりますので、申し訳ありませんが、先ほどの説明内容とは異なりますが、1ページごとにご質問やご意見等を頂きたいと思

かにし、外部講師等から指導助言を受け、授業方法の工夫改善を行っており、3校で4回の派遣を行っております。今後の取組としましては、公開授業研究発表会を開催し、次年度以降も研究指定校4校を指定し、研究を行います。次に、「学力向上推進研究事業」で、資料は3ページをお願いします。事業内容は、教員が授業を工夫、改善を行うとともに、自らの指導力を高めることにより、児童生徒の学力の向上をめざしますとなっております。9月30日までの取組状況として、学力向上推進研究会を2回開催しております。今後の取組としましては、研修会の開催と先進校の視察、外部講師を招いての研修会を開催し教員の指導力の向上に努めます。以上が、重点施策1のうち、「学力向上支援事業」及び「学力向上推進研修事業」の説明です。ご質問やご意見等ございましたらよろしく申し上げます。

河上市長

細かい話ですけど、「学力向上支援事業」での有馬小学校への外部講師の派遣回数が、上期0回になっていますが、これは特別な理由があるんですか。

楠学校教育課長

1学期の火災等もあり、学校の体制が十分ではないということもありまして、10月1日以降に重点的に取り組んで行く予定です。

林総務課長

他に何かご意見、ご質問等ございませんでしょうか。

河上市長

学力向上推進研修事業で8月30日が2回目の研修事業について、中学校教職員は、陸上競技大会がこの日に重なって参加できなかったということなんですが、どうしてもやむを得ない日程で重なってしまったと思うんですけど、陸上大会も重要ですし、子どもたちの学力向上のためには、中学校の先生方にこういう研修を受けていただくことが必須だと思いますので、こういう日程調整については、なるべくだぶらないように今後気を付けていただきたいと思います。

楠学校教育課長

陸上大会の延期ということもありまして、やむを得ない状況だったのですが、その後、2人の指導主事が中学校を回りまして、校内研修で行っております。

林総務課長

その他何かございませんか。

また最後に全体のご質問等を受けたいと思います。

次に、2ページの取組事業名、「学力向上特別支援事業」（資料は4ページをご覧ください）、事業内容として、指定校である木本中学校での「学びの共同体」等の手法を取り入れながら、実践的な取組を進めますとなっております。9月30日までの取組状況として、校内授業研究会を実施しています。今後の取組としましては、外部講師を招いての2回の公開授業研究会を予定しており、内1回はすでに10月5日に開催をしております。

取組事業名、「地域未来塾事業」(資料は5ページをご覧ください)、事業内容は、小学校4年生から6年生の希望者を対象に、夏休みに学習会を開催します。講師として、この地域出身の大学生や教員のOB等が学習支援を行いますとなっています。取組状況としましては、7か所で延べ16日開催し、延べ174人の児童の参加があり、学力向上のきっかけづくりを図ることができました。今後の取組としましては、夏休みのみの予定でしたが、児童の意欲の高まりも見られたことから、冬休みも4日程度の開催を考えております。

以上が、重点施策1のうち、「学力向上特別支援事業」及び「地域未来塾事業」の説明です。ご質問やご意見等ございましたらよろしく申し上げます。

糸川委員 冬休みに実施する予定の講師の方とか大学生の方は決まっているのですか。

楠学校教育課長 夏休みに8名の大学生が参加してくれました。その大学生の皆さんを中心にお願いをしております。

河上市長 新鹿小学校、五郷小学校、飛鳥小学校、入鹿小学校での開催で、4人10人と数が少なくなっていますが、これは地域の児童が少ないのでやむを得ない面はあるかと思えます。ですが例えば、新鹿小学校、五郷小学校で1人というのは、逆に言うともあまりにも寂しいし、子どもたち同士が刺激し合うという部分も少なくなるので、これはやっぱりいろんな事情があるので、単純に増やそうと思って増やせるとは限らないかも知れませんが、せっかくこの取組を実施するんですから、もう少し冬は増やせるように頑張っていたいただければと思います。

倉本教育長 以前、放課後学習プランという事業を市単で行っておりました。その事業については、日によってはゼロであった実態がございます。今回につきましては、学力向上ということを主眼に置いて、プリントをこちらから用意して、できるだけ多くの児童に参加してもらえようように手立てを講じたつもりなんですけど、結果として少なくなつて非常に残念でございます。

市長がおっしゃったように冬休みはもう少し増やせるように、学校でさらに周知徹底するような形で進めていきたいと思っております。児童生徒数の状況は、資料の一番後ろに載っております。28年度は、五郷が14名、神上が6名です。山間部を切り捨てる気持ちは一切ございませんので、より手厚く今後もやっていこうと思っております。

林総務課長 その他にご意見等ありませんか。

大久保委員 「地域未来塾事業」ですが、本来参加してほしい子どもたちが来

てもらえたのかどうか。もう 1 点は、子どもたちのこの事業に対する感想はどういうものなのか、教えていただけたらと思います。

楠学校教育課長

学力の高い児童も参加してくれましたが、中間層の児童が多かったのではないかと思います。

子どもたちの反応としては、大学生の皆さんがとても丁寧に教えてくれたこと、また皆で学び合うということも含めて、すごく楽しかったという状況でした。

倉本教育長

今、学校教育課長が申し上げたことについて、少し付け加えさせていただきます。

本当に来てほしい子ども、学力に課題がある子につきましては、なかなか参加していただけない実態がございます。そこが大きな課題であって、今後どうして行くか考えていかなければならない部分であると認識しております。

参加してくれた児童につきましては、継続して参加してくれ、楽しく、解った喜びを感じることができるといことがございます。

県の教育委員会の小中の学校教育関係の方も視察に来まして、県全体で発信していただいている内容でございます。これを強みとして、今後より進めてまいりたいと思います。

糸川委員

今の「地域未来塾」の続きなんですけども、その事業に参加してくれた大学生の皆さんが、教育委員会が作成したワークシートを中心とした学習をサポートしたということなんですけど、それに対して大学生の皆さんの方から、こういうことをしていけばいいんじゃないかななどの提案はなかったんでしょうか。

楠学校教育課長

今回皇學館大、愛教大、佛教大、日本福祉大から 8 名の大学生が参加していただきました。彼らからは将来、教職に就きたいという話を聞いております。私も何回か見させて頂きました。最初の頃は、緊張してたどたどしかったんですが、日を追うごとに自分たちでリーダーを決めて進めて行くようになり、成長も見えました。そんな中、こういう形でやっていいですか、という提案もしてくれ、自分たちも勉強しながら進行してくれました。

河上市長

目的が学力向上推進という中での取組なので、参加して楽しかったという評価は、その子の今後の学習能力のアップにも繋がるんですけども、直接的に効果があったかどうか、それを測ることができるかどうか、数少ない取組なんで難しい面がありますが、ぜひトライを。人数全般で考えれば、今まで不得意だったところができるようになったとか、そういう評価できる部分も是非一度考えてもらいたいと思います。

楠学校教育課長

夏休みに実施した経験を生かして、いろいろなチェックをさせて

もらい、来年度改善に向けて考えております。

林総務課長
小山委員

その他、この項目の中でご意見、ご質問等ございませんか。

保護者の方に説明をして、積極的に多くの子どもたちに参加してもらえるようにできないのでしょうか。保護者の方に協力をしていただけたら、参加率も高くなると思うのですが。

楠学校教育課長

はい、一人でも多くの子どもが、参加できるように工夫、改善をしていきたいと考えております。

林総務課長

その他なければ、重点施策1 学力向上の推進の最後になります、取組事業名、「グローバル体験事業」(資料は6 ページをご覧ください)、事業内容は、英語を楽しく体験させることにより、グローバル社会に対応できる児童生徒の育成をめざします。取組状況として、グローバル・スポーツ・イベントのほか映画会と夏休み期間中の英会話教室を開催しました。参加人数は合計で87人となっております。今後の取組としまして、12月にイベントの開催を予定しており、楽しく英語力が身に着くようにしたいと考えております。

以上が、重点施策1のうち、「グローバル体験事業」の説明です。ご質問やご意見等ございましたらよろしくお願ひします。

河上市長

映画会が行われているんですが、全小学生を対象にして、参加人数がちよつと少ないですね。スポーツ少年団とかいろいろなイベント等と重なってという面もあって、簡単には行かないのかもしれないんですが、小学校全員で687人が対象で22人というのは非常に少ないという気がします。難しい面が多々あるとは思いますが、先生や保護者にも情報は行くようにして、なるべく参加していただくように、引き続き工夫をして努力していただきたいなと思います。

楠学校教育課長

映画会の方は、4年生から6年生が対象となっております。やはり、4年生から6年生まで対象でも参加率を上げて行きたいと思っております。また、それが課題だと考えております。

林総務課長
倉本教育長

その他何かございませんか。

ただいま、学習指導要領の改訂を行っております。2020年度から小学校3年生、4年生で英語が必修となります。5年生、6年生で教科としての英語が導入されます。グローバルな視点で英語力が求められて来ますので、ネイティブスピーカーいわゆるALTを活用した英語の授業は、今後引き続き行っていきたいと考えております。

林総務課長

その他ございませんか。

それでは、重点施策2 豊かな心の育成に移ります。資料の7ページも併せてご覧ください。ここからは、重点施策ごとにご質問やご意見を頂きたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。

取組事業名、「いじめ防止対策推進条例」の制定、事業内容として、

いじめ防止のための基本的な事項を定めますとなっております。取組状況としまして、仮称ではありますが「熊野市子どものいじめ防止等に関する条例」の制定に向け課内で協議を行っております。今後の取組として、本年度中の条例の制定を目指します。

次に、取組事業名、いじめ防止基本方針の見直し、事業内容は、「熊野市いじめ防止基本方針」及び各学校の「いじめ防止基本方針」の見直しとなっております、取組状況としまして、具体的な指示を示し、見直しを進めています。今後の取組としまして、すべての学校において改正を行ってまいります。

次の、「いじめ対策事業」、事業内容、小学3年生以上の全児童と全中学生を対象とした学級満足度調査いわゆるQU調査を実施し、研修会を開催し、自尊感情の満たされる学級・学校づくりを行います。また、定期的にいじめアンケートを実施します。9月30日までの取組状況は、いじめ対策事業研修会を開催しました。また、小中学校全校で1学期分がいじめアンケート調査を実施しました。今後の取組としまして、QU調査を1月10日までに実施し、児童生徒の学級満足度、課題等を把握します。いじめアンケートは2・3学期にも実施し、10月には保護者、学校評議員に対しても行います。

次の、郷土教育の充実、事業内容は、「わたしたちの熊野市」を活用した地域学習を進めます。取組状況としまして、各小学校3・4年生の社会科を中心に地域学習を進めています。今後の取組は、今後とも地域学習の充実に取り組みます。

以上が、重点施策2 豊かな心の育成の説明です。ご質問やご意見等ございましたらよろしくお願いいたします。

糸川委員

郷土教育の充実というところで、「わたしたちの熊野市」を活用した地域学習の充実ということなんですが、この教材は、3年生4年生が全員持っているものなんですか。

楠学校教育課長

基本的には、3年生4年生でこの教材を使用します。各学校の3年生4年生の一番多い学年の冊数を設置しています。それで活用してもらおうということです。

糸川委員

3年生が使ったり4年生が使ったりしているのですね。

楠学校教育課長

はい、そうです。

糸川委員

郷土教育ということに関しては、3、4年生だけで行うということなんですか。

楠学校教育課長

基本的には社会の中に出てきますので、全ての学年で活用して行ければと考えております。

糸川委員

グローバル教育とか郷土教育をひっくるめて、ちょっと上手く伝わらないかも知れないんですけど。先日、知人と世界ってどこなの？

という話をしまして、世界はアメリカでもないしヨーロッパでもない。実際にいろんな国と国が集まった全てが世界ということは、熊野市もアメリカやイギリスから見たら世界ですよ。ですから子どもたちが熊野市に誇りを持って、将来熊野市から出て行った時に、熊野市をアピールできる、そういう子どもの育成というのを小さい時から取り組んでいただいたら、とても良いことだなと思います。実際、自分も熊野市に住んでいて熊野市の良い所を挙げなさいと言われても、難しいところがあります。なので、小さい時からの教育で、自分の住んでいる街に誇りを持つように、この郷土教育を徹底していただけたら、とても良いことだと思います。

楠学校教育課長

外を見て初めて中の良さがわかるということがあるかと思いません。やはり外と中とグローバルな視点と地域を愛する気持ちを育てるということに取り組んで行きたいと考えております。

糸川委員

自分の住んでいる街が、当たり前のように海があって山があって川があって、それが田舎という風に思ってしまったんですが、ほかの人から見たら、海と山と川という自然に囲まれて羨ましく思われたことがあり、その時に考えが変わりました。そういうことがあったので、今回お話させていただきました。

河上市長

人数が少ないんですけど、毎年小学校6年生の子どもたち5人をイタリア ソレント市へ送ってしまして、まさに今、糸川委員が言われたようなそういう経験をしています。外に出ると日本との違いが分かるし、熊野の良さを改めてしみじみ感じて帰ってくる子どもが多いです。海外まで人数を増やして行かせることは難しいんですけど、外に出かけて、熊野市を見る機会を少しでも作りたいですね。

先日、奈良県の桜井市と友好都市として締結してから30周年を迎えました。言われたように、桜井市は海がない。一方で歴史はものすごく熊野市より深い面があります。そういう近い所である友好都市を環境ベースにし、子どもたちが交流する機会を作って、糸川委員が言われたように、少しでも多くの子どもたちが熊野市の良さをを感じる機会を作れるよう、教育委員会の方で頑張っていただけるように、また執行部としても努力をさせていただきたいと思っております。

林総務課長

その他に何か意見はございませんか。

河上市長

「いじめ対策事業」については、教育委員会で非常に注意を払っていろんなことをやっていたらいいんですけど、いじめの早期発見は非常に難しい面があると思うんですけど。早期発見に向けて、満足度調査以外で特に気を付けて取り組んでいることはありますか。

楠学校教育課長

まず学校として、教職員集団として、いじめはどこにでも起こりうるということについて、校長を中心に研修に努めております。

あと、教師は毎日子どもたちを見ていますけど、いじめは教師が見えないところで起こっていることもあります。やはりこのアンケート調査をきっちりやるのが大事だと思います。いじめを見ている子どもが必ずいますので、アンケートからわかることが多々あります。また、保護者にも評議員にもアンケートを行います。子どもからのアンケート以外で、保護者の情報からもいじめを受けていることがわかるアンケート結果が出る場合があります。完璧ではないですが、そういった広い視点でアンケート調査を行っております。

倉本教育長

アンケートだけ行うということで終わらないように、職員のいじめを見抜く力であるとか感性が大切なことは認識しているんですが、そこをどうして行くかということが課題だと考えております。いろんな研修会や校内研修を重ねてやっていくことが重要ではないかと思えます。過去に1人で抱え込んで、ほかの職員が知らなかったということがありますので、できるだけ学校を開くという視点の中で、取り組んで行かなければならないと考えております。

林総務課長
大久保委員

その他ございませんか。

いじめについては、新聞等では問題もありますけど、熊野市では大きな問題はなくて、ありがたいと思っています。これは、難しい問題です。例えば、いじめる側が冗談で言っているつもりが、受ける側にとっては非常に辛いことが多々あると思います。それで、子ども学校へ行きたくなくなることもあるのではないかと思うんです。やっぱり指導というのをきめ細かく注意してやっていただけたら、ありがたいなと思います。

河上市長

私も個人的には、先ほど教育長が言われたように、早期発見というのは、子どもたちの変化を先生の感性で捉えないと難しい部分があると思います。感性を鍛えるというのは非常に難しいことです。ですがやっぱり、感性や感度という部分を研修によって少しずつレベルアップしていただくしかないのかなと思います。また、子どもたちが答えやすいようなアンケートの問い方の工夫をこれからも少しずつ気が付いた点がありましたら改善をしていただきたいと思います。

糸川委員

大久保委員が言われたように、学校に行きたくないとそこまで思わなくても、学校へ行っているけど面白くないという子どもがいると思います。クラスが20人30人いたら、全員が楽しく学校へ通ってくれることがベストだと思います。本当に全員が楽しいと思えるような学校づくりをお願いしたいです。学校へ行ってはいるけど、

楽しめていないという子どもがたくさんいると思うんです。先生方が「元気か」とか「今日はどうな」という風に生徒全員に毎日声掛けをする取組があると、生徒の方も今日も先生は自分のことを見てくれているというちょっとした安心感がわくと思います。

アンケート調査だけでなく、先生がどんどん生徒とコミュニケーションを図っていただけたらと思います。

楠学校教育課長

いじめという問題は、学校全体がチームとなって対応することがとても大事だと思います。例えば朝、養護教諭が生徒にあいさつをした時に、元気がなかった場合は担任に話をし、中学校でしたら教科ごとに先生が違うので、授業中に気になったことを学校全体で共有するなど、研修等も含めてしっかりと進めて行きたいと考えております。

河上市長

今、糸川委員が言われたことは非常に良い方法だと思います。中学校では、教科ごとに先生がかわってしまいますけども、小学校では、担任の先生がほとんどの授業をするので、1日1回は全ての児童に声をかけるという具体的な話を考える方がいいのではないかと。情報共有は努力として必要になるんですが、方法としては、抽象的なので。具体的な情報共有の方法が示されていればいいんですが。

1日1回先生から必ず声を掛けられるというのは、子どもたちにとって非常に繋がっているなという思いを持つことになるので、良い提案だと思いますので、是非ご検討をお願いいたします。

大久保委員

先生が子どもをいじめるではないですが、先生が冗談で言った言葉を子どもが真に受けてしまう例もあります。ですから、先生が子ども1人1人の性格をしっかりと把握しておくことと、掛ける言葉も気を付けることが大事だと思います。

私も昔、苦い経験をしたことがあります。掃除の時間に、掃除道具の置き場の上からちりとりが落ちてきて、ある女の子に当たったんです。思わず私は笑ってしまったんです。そしたら、その子が泣いてしまったんです。私は軽い気持ちで笑ってしまったんですが、その子にとってはものすごく辛かったんでしょうね。なぜ辛かったのか、いまだに理解できない部分もあるんですけど。そんなことがあって、それから気を付けるようにしたんですが。

なので、先生も子どもの性格を把握して声掛けしてもらうことが大事だと思います。

楠学校教育課長

おっしゃるとおりだと思います。学校にいる時の子どもの姿というのは、時間に見てみたら1/3です。それぞれ、いろんな家庭の事情がある中、元気に学校に通ってくれています。

そういった中で、子どもを理解し、子どもの見えない部分にもし

っかり寄り添ってもらい、対応していくことが我々教員にとって大事なことだと考えております。また、校内研修等の場においても 1 人 1 人の子どもについて、対応して行きたいと思っております。

倉本教育長

こちらに Q U 調査という表記があるんですが、これは、学級満足度調査と言いまして、学級にどれだけ満足しているかとか、どういう集団であるかということが可視化できるようになっています。いじめの分析をきちんとして、きちんと対応すれば、予防になり早期発見にも繋がります。Q U の研修会は、県教委からまたは他の市町から講師を呼んで実施しているんですが、もっと学校で深く分析できるようにしていくということが大事だと考えます。

林総務課長

その他ございませんでしょうか。

糸川委員

Q U 調査をして、結果が出るまでに日数はどのくらいかかるんですか。

楠学校教育課長

Q U 調査の結果は、約 1 か月で出ます。個人が集団の中でどういう位置関係にあるのか、また学級に満足しているのかという結果が出ます。

河上市長

教育長から満足度調査の説明があり、やや科学的な調査なんだなとわかりました。これは、単純なアンケート調査では分析しきれないと思います。市内の小学校 3 年生以上のクラスとか市内の中学校のクラスごとで、その子どもが若干クラスになじめていない状況があるというのは、ポイントか何かで示されたんですか。例えば程度がどっちに行くかわからいですが 10 段階で 6 以上がだめという時にこの子は 7 とか 8 とか出てくる訳ですか。

楠学校教育課長

X 軸とか Y 軸のような。

河上市長

こういう調査については、いろんところで統計的な処理をした調査となっているはずなんで、ある程度科学的なんだろうなと今思ったんで。中身の説明を聞いて良かったです。

糸川委員

満足できていない結果が出た場合には、先生方はその改善をいただいているんですよね。

楠学校教育課長

はい、改善するように取り組んでいます。

大久保委員

熊野市の場合、クラス替えが少ない学校が多いですよね。毎年 Q U 調査を実施していると、担任によってとかその年によって何か変化はありますか。

楠学校教育課長

今手元に確かな統計は持っていませんが、学級集団の中で、学年が上がることによって、友達の関係やいろんな部分で一人一人が成長して行きますので、Q U 調査でもそれなりの変化が表れているのではないかと考えております。

糸川委員

Q U 調査の結果は、自分のクラスの結果しか担任の先生はわから

ないのですか。

楠学校教育課長
林総務課長

校内研修等の場で、全体の子どもの分析を行っております。

よろしいでしょうか。次に、5ページの重点施策3安全で安心な学校環境づくりに移ります。資料の7ページから8ページを合わせてご覧ください。取組事業としては、「学校防災対策推進事業」、「防災教育の充実」、「各種訓練等の充実」、「関係部局との連携」、「学校防災マップづくり」の推進と5つの事業を行うこととしております。

「学校防災対策推進事業」では、平常時から万全の対応ができるよう、地域の実態に応じた防災対策等を推進します。今年度の取組状況は、防災教育及び防災対策に関する専門的な研修を実施しました。今後の取組としまして、今年度中に2回「防災対策推進研修会」を開催します。

防災教育の充実では、防災ノート等を活用しながら防災教育の充実を図ります。取組状況は、学校・家庭が連携した防災教育を進めています。今後の取組としまして、学校・家庭が連携した防災教育をさらに推進します。

各種訓練等の充実では、学校・地域防災組織と連携します。地域や地域防災組織と連携した防災訓練等を実施。今後の取組としまして、さらに学校と地域防災組織等との連携を深めます。

関係部局等との連携では、関係機関と連携しながら学校防災を推進します。今後の取組に関しても、さらに連携を深め、学校防災の充実を進めてまいります。

学校防災マップづくりの推進では、児童生徒が実際に校区内を歩いて、危険箇所等を調べ、防災マップを作成し、児童生徒の防災意識を高めます。取組状況は、防災マップを作成し、防災意識の向上を図りました。今後の取組としまして、地理的状况に応じた防災マップの作成を進めます。以上が、重点施策3安全で安心な学校環境づくりの説明です。ご質問やご意見等ございましたらよろしくお願い致します。

大久保委員

特に、地震、津波等については、各学校で細かく訓練も指導もしていただいているように思います。私たちの身の回りというのは、至る所で危険があって、地震、津波以外に、交通事故に遭ったり、いつ犯罪に巻き込まれるかもわからないという状況ですので、日頃からきめ細やかな指導等をお願いしたいと思います。

林総務課長
林総務課長

その他何かございませんか。よろしいでしょうか。

次に、6ページの重点施策4子どもの読書活動の推進に移ります。資料の9ページも合わせてご覧ください。子どもの心づくり事業は、子どもの成長に合わせた読書活動を実施します。9月30日までの取

組状況として、月2回の「おはなしなあと」のほか合計月4回の活動を行っており、延べ参加者は327名となっております。今後の取組として、子どもの読者活動は、健全育成に欠かせないものであり、引き続き実施してまいります。

学校との連携は、学校への団体貸付の利用促進を図ります。取組状況として、団体貸付をPRしたことにより、貸出冊数が360冊余り増えました。今後の取組ですが、団体貸付や図書館見学会等の開催を行い、今まで以上の連携を図って行きます。

「ボランティア活動活性化事業」は、ボランティア活動の活性化を図ります。取組状況として、登録ボランティアが2名増えました。今後の取組ですが、ボランティアの増員と技術の養成を図ります。

読書感想文コンクールは、小中学生を対象に読書感想文コンクールを実施します。取組状況として、冬季休業中の課題として準備を進めております。今後の取組ですが、学力向上の一環として継続して取組んで行きます。

「蔵書整備事業」は、蔵書の充実を図ります。今年度の取組状況は、4,163冊増加し、9月30日現在で、蔵書数は157,711冊となっております。今後の取組ですが、児童書の充実と東南アジア関係の蔵書の充実を図ります。以上が、重点施策4子どもの読書活動の推進の説明です。ご質問やご意見等ございましたらよろしく願います。

糸川委員
杉本社会教育課長

読書感想文コンクールというのは、冬休みの課題なんですか。
読書感想文コンクールについては、現在図書館と学校と協力しながら、冬季休業中の課題としての準備を進めております。

糸川委員
杉本社会教育課長

これは、全学校が実施しているんですか。
実施については要請ではないですが、全学校に依頼をしております。27年度では、小学生が89名、中学生が15名の応募がありました。

倉本教育長

読書感想文コンクールは、図書館いわゆる社会教育課がやっていますし、他の団体が実施しているものもあります。応募するのは子どもたちの自由です。学校が子どもたちへの課題として取り扱うパターンもございます。

林総務課長
大久保委員

その他何か意見等ございませんか。
図書館で読み聞かせなどしていただいていると思うんですが、これは、親が熱心で限られた子どもしか参加していただけてないと思うんですね。一昨年前は、各学校での読み聞かせという事業があり、各学校へボランティアの方々が来ていただいて、読み聞かせをしていただきました。昨年度で読み聞かせの事業は終わり、今はボラン

ティアの方々が自主的に学校へ出向き、読み聞かせをしていただいているということなんですけども。

やはり、たくさん子どもたちに本を読み聞かせる。また、こんな良い本があるよ、という呼びかけも大事なんではないかと思いません。

本は、たくさん読めば良いというものではなくて、数は少なくても子どもが心に残るような良い本を読み聞かせたり、紹介することは、とても大切なことだと思います。

学校へ訪問してそれを行うことは、たくさん子どもたちに伝えることが出来る訳です。図書館でやっている事業だけでは、図書館に来る子どもは、限られた少人数しかないと思います。

先生方も本を読むことはできると思うんですが、やはり忙しい中で本を選ぶということさえなかなか難しいと思います。ボランティアの方々は本当に時間をかけて、たくさんの中の良い本を選んでいただいています。何回も読む練習をして、それをどう読んだら子どもたちに伝わるかということも考えて取り組んでいただいています。

是非、教育委員会で事業化して実施していただけたら、ボランティアの方々にも励みになると思いますし、意気込みも違って来ると思います。来年度、そういう事も考えていただけたらと思います。

杉本社会教育課長

貴重なご意見をありがとうございます。大久保委員おっしゃられるように、子どもたちが多くの本に親しんで、読書習慣をつけるということは、非常に大事なことで考えております。6ページにも書いてあるように、図書館に来ていただいて読み聞かせをする事業や学校へ本の団体貸出をしており、学校の方でも子どもたちに本に慣れ親しんでもらうよう取り組んでいただいております。

図書館の事業につきましては、現在、司書が2名と司書補助が1名で活動しています。また、今年度から新しく図書館長が配属されましたので、職員やボランティアの方々と協議をしながら、今後進めて行きたいと考えております。

倉本教育長

図書館の機能や規則等を整え、適正な運営ができるようにすること。各学校で読み聞かせの事業がなくなったというのは、何らかの理由があると思いますので、そちらの確認をさせていただきます。より効果的な方向で実施していくために、今一度時間をいただいて、検討させていただきたいと思います。

大久保委員

実際、今違う形で、図書館の方で実施しているのですね。これほど図書館の方に負担をかけることはないと思うんですが。場合によっては、学校から図書館に、うちの学校へ来てくださいということ

を依頼してもらおう。そして、図書館が、ボランティアの方に、どここの学校から依頼がありましたよ、ということを伝えるという。その程度で。それ以外図書館の方に負担をかけることは、そんなにならないと思うんですね。

ただ、今やっている小学校での読み聞かせは、図書館の事業であるということが大事だと思います。読み聞かせの事業を行っている所は、熊野市周辺でどこもやっていないんですね。そういう意味で熊野市が、そういう事をやっているということが、大事なことだと思います。

やはり、読書というのは、学力向上ということもあるんですが、本を読む習慣を付けていくということは、人間性と言いますか個人の人間の厚さをつけていく上で大切だと思います。

是非、教育委員会で方策を考えていただきたいと思います。

糸川委員

本を好きな子というのは、読書を重ねることにより、どんどん好きになって行くんでしょうけど、逆に本をそれほど好きだと思っていない子は、いっぱい本はあるけど、どれを読んで良いのかわからないと思います。結局、適当に見て、それで終わっていくと思うんです。

なので、それぞれ年齢や学年対象の本が分かるように置かれていると思うんですが、図書館には専門の方がおられますので、こんな本がこんな話になっていてお勧めですよ、というような紹介をしていただくと、もっと子どもは取り込みやすいと思うんです。図書館の職員の方に勧めていただくということは、とても良いことだと思います。

河上市長

読み聞かせというのは、小学校でもあるんですか。

倉本教育長

はい。

河上市長

低学年ですか。

倉本教育長

主に低学年です。

河上市長

お二人の委員さんが言われたように、とにかく本を読むきっかけを増やすこと。これは、なかなか実際難しいと思いますが。関心がない子どもに関心を持たせるということは、一番難しいところだと思うので。

糸川委員

読み聞かせは、1冊の本を読んでいる間に、その本を好きな子もいれば、興味を持たない子もいると思うんですね。読み聞かせだと一方通行になるので、読み聞かせではなく、いくつか本を用意しておいて、この本はこんな事を書いている本ですよ、と本の紹介をしていただくと。それで、子どもが興味を持った本を選んで読むという読書の体制があれば良いなと思います。

河上市長　それも一つの面白い方法だと思います。いろんなやり方があると思うので、読み聞かせも大切だし、興味を持てば、その本も読みたくなるし。糸川委員が言われたように、本の紹介をしてもらって、それなら読んでみようかな、と思う子どももいるかも知れませんが、それとこれは、あまり良くない方法かも知れませんが、今、市民向けに、健康づくりのために、検診を受けたりといろいろな健康のための取組を行っており、健康ポイントを提供しています。ポイントの点数によっては、プレゼントがもらえます。

子どもたちに対しては、良くない方法かも知れませんが、本1冊借りたらポイント1つとかですね。私が言いたいのは、どういう方法が良いのかは別にして、たくさんある方が良いと思いますので、本を読もうと思う気持ちになれるような取組をもっと数多く考えていただくようお願いします。

糸川委員　今、思いついたんですが、先生にこの本を読んで、こういうところが気に入ったとか、こういうところが良かったと報告して、ポイントをもらうとか。そうすることで、子どもと先生とのコミュニケーションも増えると思います。

河上市長　これは、取っ掛かりが大切なんです。きっかけというか。

大久保委員　一番良いのは、小さい時から家で、お母さんやお父さんが本を読んで聞かせて、本に親しむ習慣を付けていくということなんですけど、なかなか各家庭でそれをやっていただけたところは、少ないですから。そういう面で、外からサポートしていただくことも大事ですね。

河上市長　これが、最初の重点項目に追加されたものですよね。委員さんの思いの強いものなので、今の意見を踏まえて、読書に親しめるように、最初のきっかけやいろんなアイデアを出していただきたいと思います。

林総務課長　次に、重点施策5生涯学習環境の整備に移ります。資料の10ページも合わせてご覧ください。

各種生涯学習講座は、多様な生涯学習機会を提供します。取組状況は、11講座を開催し受講者数は延べ977人となっております。今後の取組は、各種講座を開催し利用者のニーズを把握しながら常に事業の見直しを図ります。

市民文化祭は、市民会館及び文化交流センターでの成果を披露する機会を提供。取組状況として、市民文化祭の各部門の準備を進めています。今後の取組としまして、引き続き支援を行います。

「まちの人材活用事業」は、知識や技能を持つ人材を登録・派遣し、地域の生涯活動に生かします。取組状況は、登録者数108名、

受講者数は 24 回で延べ 583 人となっております。

「読書推進事業」では、文学講座など実施するとともに蔵書の充実を図ります。取組状況は、毎月 1 回の文学講座やテーマ展示等行うとともに、蔵書の計画的購入も図っています。今後の取組は、企画展の開催や蔵書の充実を図ります。

以上が、重点施策 5 生涯学習環境の整備の説明です。ご質問やご意見等ございましたらよろしくお願ひします。

大久保委員

この前の市民文化祭で展示品を見せていただいたんですが、いろんな分野でいろんな方が活躍されているんだなど。こういうことを世話される方は、大変だと思うんですが、素晴らしいことだなと感じました。

河上市長

子どもの囲碁教室は、結構、参加者が多いんですけど、これでちゃんと碁を打てるようになるんですか。

杉本社会教育課長

最初は、間違った打ち方をしていますが、段々と上達しているように見えます。頭の体操にもなり、子どもたちも交互に人が代わって打って、誰が勝ったとか負けたとか点数をつけ合いながらやっていますので、ふれあいの場といえますか、社会勉強をするには、良い競技だと思います。

河上市長

宮崎県の日向市と、囲碁と神武東征で繋ぐ友好協定を結びましたので、那智黒石が黒碁石として唯一使われる石でもあるので、子ども囲碁教室は、今後とも頑張りたいと思います。

林総務課長

最後になりますが、8 ページの重点施策 6 生涯スポーツの普及と促進ですが、資料の 11 ページを合わせてご覧ください。

市民健康スポーツ祭の開催は、市民に対し、生涯にわたり健康でいきいきしたスポーツライフの実現を図り、取組状況は、開催に向けて準備を進めています。今後の取組として、市民のニーズを把握し、来年度以降の開催につなげます。

総合型地域スポーツクラブの育成事業は、子どもから高齢者まで参加する地域スポーツクラブの育成を推進します。取組状況は、15 種目のスポーツで会員登録者数 342 名となっております。今後の取組として、健康増進ハウスの環境整備等を図っていきます。

「スポーツ少年団育成事業」は、スポーツを通じて青少年の健全育成を図ります。取組状況は、熊野市スポーツ少年団団結式等を開催し、団員の親睦を深めました。今後の取組は、今後開催予定の交換競技大会の準備を進め、子どもたちの健全育成等を図っていきます。

ドリームベースボール開催事業は、ドリームチームと開催チームの親善試合を行います。9 月 18 日、市営体育館及び有馬中学校体育

館で開催。野球教室では 389 人の児童生徒が元プロ野球選手から指導を受けました。今後の取組ですが、生涯スポーツ等の一環として、今後も各種大会を開催します。

「スポーツ競技実施体制の構築事業」は、全国高校総合体育大会の視察及び関係各課との連携を図ります。取組状況は、平成 30 年度の「全国高等学校総合体育大会」・平成 33 年度の「国民体育大会」開催に向け準備会議に参加しています。今後の取組は、情報を共有しスムーズに運営できうるよう体制の整備を図っていきます。

以上が、重点施策 6 生涯スポーツの普及と促進の説明です。ご質問やご意見等ございましたらよろしくお願ひします。

河上市長

総合型地域スポーツクラブへの参加人数が書いてないんですが、それは分かるんですか。

杉本社会教育課長

今、手元に資料がないので、分かりかねます。

河上市長

何のためにやっているか、できるだけ多くの市民の皆さんに、生涯スポーツを何か一つでも参加していただくために、その数字は今後必ず出すようにお願ひします。

杉本社会教育課長

わかりました。

大久保委員

熊野にも以前、バドミントンがあったと思うんですが、なくなったのは、参加者がいなくなったのか、指導者がいなくなったのか、教えていただきたいのですが。

杉本社会教育課長

事務局をしている者に確認すると、参加者が少なくなったので廃止になったという場合が多いとのこと。指導者が調整できずなくなった競技もないことはないということなんですが、概ね、利用者が見える場合は、何とか指導する方をお願いするという形で対応しております。

河上市長

総合型地域スポーツクラブで育成事業としてやっている種目ですけど、全体として市が取組でやっているスポーツ種目に対する参加者の把握も重要ですが、体育協会に入っているけど、総合型地域スポーツクラブには入っていない、というスポーツクラブもあると思うので、できたらそういう数字も分かるようにしていただけるとありがたいと思います。

杉本社会教育課長

調査したいと思います。

林総務課長

その他ございませんか。

林総務課長

1の学力向上の推進から6の生涯スポーツの普及と促進までの全体を通して何かご質問やご意見等ありましたらよろしくお願ひします。

林総務課長

ないようですので、事項書の2(2)平成29年度に向けた取組についての1つ目、「コミュニティ・スクールの設置」について、学校教

育課長から説明をさせていただきます。

楠学校教育課長

別紙のこれからのコミュニティ・スクールのあり方ということで、ご説明させていただきます。

来年度、新鹿小中学校において、コミュニティ・スクールの導入を進めております。これは、学校運営協議会制度なんですけど、しくみとしましては、学校が、地域の人々とめざす学校像や学校運営方針等を共有しまして、学校と地域が一体となって、子どもたちを育んで行く取組です。

新鹿小中学校では、学力向上をはじめ、防災教育等を柱に地域と一体となって、そのしくみについて来年度、取り組んでまいります。また、小中併設の強みも生かして、9年間を見通した小中一貫教育を一層進めてまいります。具体的には、中学校の教師を小学校に配属させ、5・6年生を中心に外国語活動や体育等を担当するなど、教科担任制も考えております。以上でございます。

林総務課長

ただいまご説明いたしましたコミュニティ・スクールの設置につきまして、何かご質問等ございませんか。

倉本教育長

コミュニティ・スクールの学校運営協議会制度につきましては、過去に御浜町の尾呂志学園のコミュニティ・スクールの立ち上げに携わりました。このコミュニティ・スクールというのは、学校運営の基本方針を校長が学校運営協議会に提案して、学校運営協議会で承認を得ることが必要になります。また、教育活動の内容や予算等についても承認を得ることが必要となります。

教職員の任用についても、学校運営協議会でいろんな意見が出せるということが、文部科学省が示している学校運営協議会制度には示されています。

三重県型学校運営協議会制度、三重県型コミュニティ・スクールというものがございまして、そこでは教職員の任用の部分についてはできるだけおさえることを考慮に入れています。指定された学校で、この職員はいらないとか、あの学校の職員をこちらの学校に任用して欲しい、ということが起き出すと混乱を招きます。こういったスキルを有した職員を、こちらの学校に来て欲しいとか、そのような程度のニュアンスでの運用が、三重県型コミュニティ・スクールの状況でございます。

河上市長

これは、新鹿小中学校だけ導入するんですか。

倉本教育長

めざすのは、全学校に導入したいと考えております。

河上市長

どのくらいの期間で、全ての小中学校に導入すると考えていますか。

倉本教育長

今想定しているのは、約3年程度かなと考えております。

河上市長
倉本教育長
河上市長

予算については、たくさん要求されても難しいですが。
予算は、それほどはかからないということです。

人事に関しても、一定の制約を掛けたうえでやっていただかないと、際限ない要求になって来ますので。予算についても、学校に与えている年度予算の中の使い道に関しては、別に構わないと思うんですが。あれが古くなったから新しくして欲しいとか、こんな施設を建てて欲しいとか、そういうことになると収拾がつかなくなると思うので、その辺の運用もぜひ注意をしていただきたいと思います。

倉本教育長

私がコミュニティ・スクールの立ち上げの際に経験した時は、予算要求とかそのような話にはならなかったです。こういうことをやってはどうかとか、このような教師がいるから活用してはどうかなど、そういった内容が中心でした。

大久保委員

新鹿小中学校が初めて導入されるということで、新鹿が地域的にも一番やりやすいのではないかと思います。

河上市長

先ほどのコミュニティ・スクールの予算についての話は、控えめにしていただきたいということだったんですが、ハードに関することについては、絶対だめという訳にはいかないですが、控えめにしていただきたいと思います。子どもたちのためのソフトの取組について、こういうことをやってあげたいというようなことは積極的に拾い上げていただきたい。やはり、ハードの面は、教育委員会と市長部局と連携してやって行くことになると思いますので。例外的なこともあります。これは、計画的にやっていることなので。できたらソフト面の要求について、いろいろと出していただきたいと思います。

林総務課長
林総務課長

その他に何かご意見等ございませんか。

よろしいでしょうか。では、2つ目の「いじめ防止等に関する条例」について、学校教育課長から説明をさせていただきます。

楠学校教育課長

第1回の総合教育会議でもご説明させていただきましたが、「いじめ防止等に関する条例」についてですが、平成25年9月に国のいじめ防止対策推進法が公布されました。熊野市も平成26年にいじめ防止等の対策と総合的かつ包括的に推進するための、熊野市いじめ防止基本方針を定めております。

本年度、仮称ではございますが、熊野市子どもいじめの防止等に関する条例を上程する予定です。内容については、子どものいじめ防止に関する基本理念や責務を定め、いじめの防止及び解決を図るための基本となる事項を明らかにすることにより、市や学校、家庭、地域住民、その他の関係者が連携し、子どもが安心して生活し、学ぶことができることを目的としております。本条例が制定された場

合には、いじめ問題連絡協議会の設置をはじめ、いじめによる重大事態に対応する教育委員会の附属機関としてのいじめ問題対策会議（仮称）の設置や市長部局の附属機関として、いじめ問題調査委員会（仮称）の設置が可能となります。

いじめの条例を制定することにより、いじめ防止に向けて効果的な推進を進めて行きたいと考えております。以上でございます。

林総務課長

ただいまご説明いたしました「いじめ防止等に関する条例」につきまして、ご質問等ございませんか。

河上市長

この条例化はいつの議会に上げるのですか。

楠学校教育課長

3月の定例議会で考えております。あと、市長部局の総務課と連携を図りながら、進めさせていただいております。

林総務課長

他に何かご質問等ございませんでしょうか。

林総務課長

ないようですので、次に移らせていただきます。3つ目の「全国高校総体及び国民体育大会の開催」について、社会教育課長からご説明させていただきます。

杉本社会教育課長

お手元の別紙の全国高等学校総合体育大会三重県大会及び国民体育大会三重県大会に向けたスケジュールをご覧ください。

熊野市では、全国高等学校総合体育大会三重県大会が平成30年度にソフトボール競技の男子と女子が予定されています。また、国民体育大会三重県大会が平成33年度にソフトボールの成年女子とラグビーの成年男子が開催されることになっております。

今後のスケジュールといたしましては、平成29年度に実行委員会等を立ち上げ、実施体制の構築につきまして検討を行いたいと考えております。この11月9日には、全国高等学校総合体育大会ソフトボール競技を本年度開催した、広島県の尾道市において打合わせ会議がありますので、それについては、熊野市からも参加する予定です。

今後も過去に開催した同規模市町等の資料を研究しまして、重ねて実施体制を検討して行きたいと考えております。

林総務課長

ただいまご説明いたしました「全国高校総体及び国民体育大会の開催」につきまして、ご質問等ございませんか。

林総務課長

ないようですので、(3)のその他でございますが、各委員の皆様から何かございませんでしょうか。

糸川委員

先ほどの学力向上のところに戻りますが、未来塾の事業はとても良いものだと思います。小山委員もおっしゃっていたように、保護者への声掛けをどんどん広げて行って、こういう取組が広まれば、子どもだけじゃなくて、来ていただく大学生も増えて、今だと決められた日に行われているのが、いつ行っても行われている、という

ことになれば、とても理想なんです。

例えば、大学生に限らず、高校生がボランティアで参加していたら、自分が小学生に教えたという喜びで、自分も教員になってみようかなと夢を持つ高校生も出てくるのではないかと思ひ、そういう取組もあってもいいんじゃないかなと思ひます。

熊野の花火大会も全国に知れ渡っているように、熊野の未来塾に参加したら、教師になるワンステップになるみたいな感じで、大学にも広まって行けば、参加していただける学生も増えると思ひます。

なので、この事業をやっているということをもっと、宣伝・発信していくことが大事なのではないかなと感じました。

楠学校教育課長

ありがとうございます。おっしゃるとおりだと思います。今年スタートしたばかりですので、改善を重ねて行ってですね、もっと広がりのある事業に向けて検討して行きたいと思ひます。

倉本教育長

前回の総合教育会議の場でも紹介させていただいたんですが、教員OBが、完全ボランティアで交流センターか市民会館で毎週土曜日に、小学校6年生を対象に、土曜塾「くまのまなびや」をやっていると思ひます。参加人数は少ないんですが、続けて来ている児童がいる状況です。こちらからPRすることも必要なんですけど、連携してバックアップして行けたらと思ひております。

完全ボランティアですので、予算要求はして行かないということで、自由にやらせていただきたいということです。教育委員会が後援させていただいており、印刷機の利用については、自由に利用してもらっています。

糸川委員

先ほどの、地域未来塾の発信ということで追加なんですけど、広報で言うことも手段だと思ひます。家にいて、広報熊野が聞こえて来ると、何を言っているのか聞いてみたりするので。新聞とかで書いていても見ないことが多いので、広報だと、子どもにも聞こえるし、地域の人たちにも広まって、地域の人たちから子どもに声掛けをしてもらえるというメリットもあるんじゃないかなと思ひました。

清嶺地総務課長

これは、防災行政無線ということで、ある程度選ばせていただいて、放送させていただいている状況なんです。

地区では放送できるんですが、システムが違うところがありますので、基本的には単発ではできないですね。

河上市長

今放送している内容については、全市民対象ですので、分野別に分けて放送することは難しいです。

小山委員

市長さんが、記者会見で声高らかに言っていただけたらと思ひます。

河上市長 定例記者会見は、3、6、9、12月なんですよ。言うのであれば、夏休み前の6月ですかね。

糸川委員 せっかく良い事業をしていただいているので、もっと知っていただくということが大事だと思います。

林総務課長 他にございませんか。

林総務課長 事務局からですが、次回開催予定は、来年の2月を予定しております。内容は、平成28年度取組状況と効果、今後の課題及び平成29年度取組等について予定しております。

本日の会議においては、委員の皆様から、いろいろなご意見等頂きました。今年度を含めて、これからの事業に取り入れていきたいと考えておりますので、これからもよろしく願いいたします。

本日の事項についてすべて終了となりましたので、平成28年度第2回熊野市総合教育会議を閉会致します。

本日はありがとうございました。